





©2012「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会

## 第2編

第8次上市町総合計画

基本計画

【重点施策】



## 第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略 おおかみこどもプロジェクト

©2012 W.C.F.P

第8次上市町総合計画において、都市から本町へひと・もの・しごとの流れを呼び込み、地域の活性化を図る地方創生の施策を基本計画の「重点施策」とし、第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけます。

### 1 地方創生の方針

上市町出身の細田守監督のアニメーション作品「おおかみこどもの雨と雪」において、都会暮らしをしていた雨と雪の母親である花は、のびのびと子育てができる環境を求め、上市町がモデルとなっている地方の町に移り住みます。移住先の町から広々とした空き家を紹介してもらい、地方での生活を始めた花は、地域の人に農業を教えてもらい、学芸員の仕事に就くなど、徐々に生活環境を充実させていきます。そして、雨と雪は、自然とのふれあいや人々との交流を通じて学びを深め、楽しいこと、つらいこと、様々な経験を積んでいくなかで、将来自分がどうなりたいのかを見つけ、やがてそれぞれの道を進んでいきます。

第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、この「おおかみこどもの雨と雪」で描かれた生活シーンを本町の目指すべき地方創生のイメージに位置づけ、**さらに町民の課題感を踏まえたうえで**、以下の3点を地方創生の方針とし、「おおかみこどもプロジェクト」として戦略を推進します。

#### (1) **こどもまんなかの支援と地域で活躍する人を育む**（基本目標1 つながる上市）

子育てで家庭の不安や負担感を軽減し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目のない支援体制の整備や保育環境の充実を図ります。また、地域全体で子どもを育てる機運を醸成し、自然豊かな地域からの学びやICTを活用した教育、郷土への愛着を育む取組を通じて、子どもたちの健やかな成長と、これからの社会で活躍できる人づくりを推進します。

#### (2) **地域資源の魅力の内外への発信により地域の賑わいを創出する**（基本目標2 にぎわう上市）

上市町に「住みたい」「誇りを感じる」と思える豊かな自然環境を活かした魅力ある催事や特産品のブランディングを通じて、町内外の人を呼び込み町の賑わいを創出するほか、産業の活性化、住まいと仕事の提供体制及びまちの基盤の充実に取り組みます。

#### (3) **みんなで守り、みんなで支えあう、安心・幸福な暮らし**（基本目標3 ささえあう上市）

みんなで地域の大変な資源を守り、支えあうことで、誰もが安心して暮らせる環境をつくり出します。住み慣れた地域でのつながりや温かな交流を大切にし、みんなで支えあう活動を充実させることで、幸福を実感できるまちづくりに取り組みます。

コメントの追加 [C1]: 「おおかみこどもの雨と雪」からのインスピレーションに加えて、住民アンケート結果を踏まえていることを表現しました。

コメントの追加 [C2]: 基本的方向に新たに盛り込まれた「こどもまんなか社会」の理念を、方針タイトルにも反映しました。

コメントの追加 [C3]: 「結婚」や「母子保健」など個別の制度名から、「切れ目のない支援体制」「保育環境の充実」など、より包括的な支援の方向性にシフトしているため、本文もそれに合わせて調整しました。

コメントの追加 [C4]: 住民アンケートから「中心市街地の賑わい創出」は住民ニーズが高いことが判明しています。その手段として住民が誇りを感じ、活気を感じるイベント設計を行います。

コメントの追加 [C5]: 町のブランディング、プロモーションについて、戦略方針がなく、事業にも一貫性がなくなりやすいため改善が必要と認識しました。催事の目的は町民が賑わいを感じることでだけでなく、外部にもその魅力を発信し人を呼び込むことで移住のきっかけづくりにもつなげます。

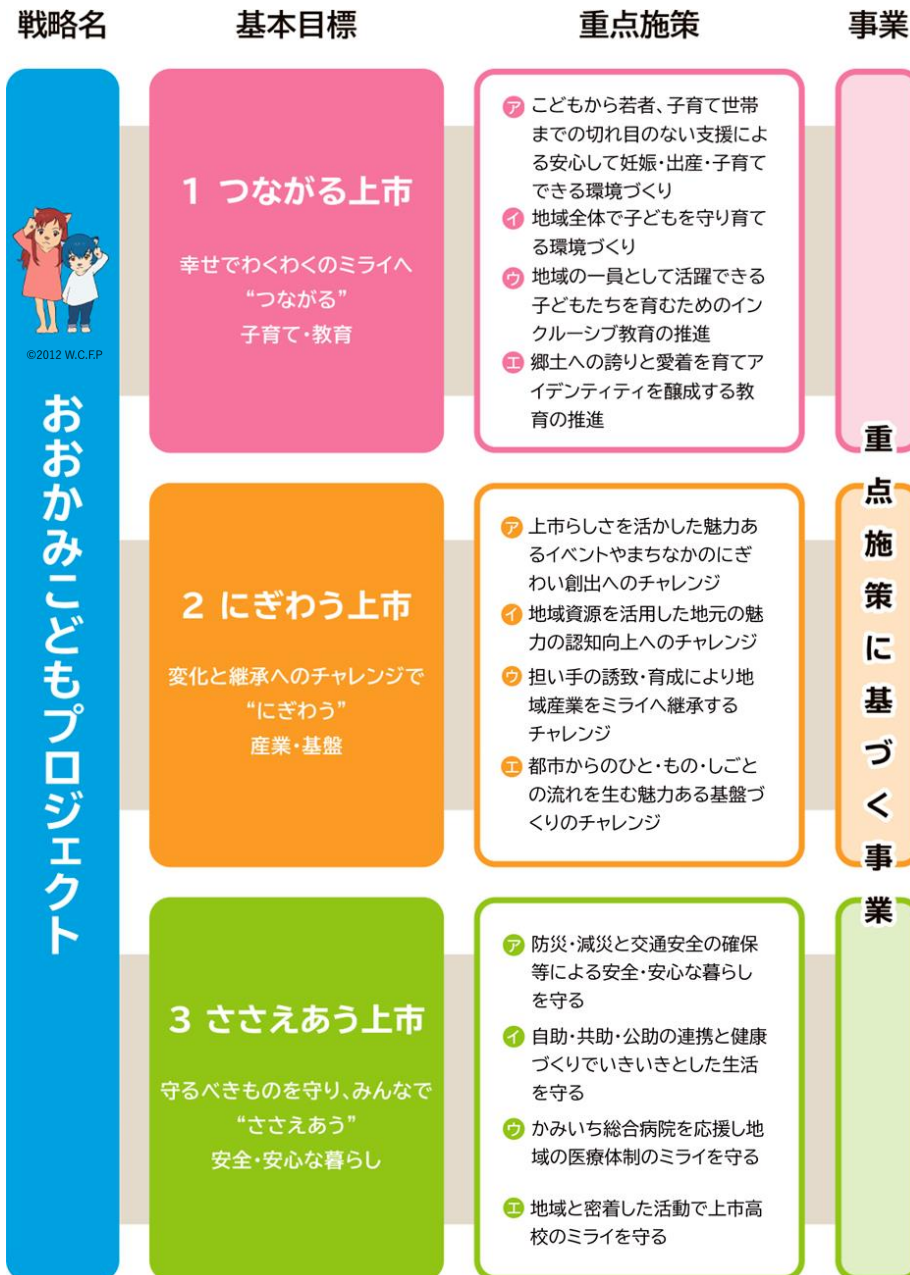
コメントの追加 [C6]: 「ぬくもり溢れる交流」という表現は、やや抽象的であり、現状の課題や住民の実感に即した表現へアップデートすることで、後期計画の方向性や住民の共感をより得やすくなるよう、修正しました。

コメントの追加 [C7]: タイトルの協働・連帯感を本文にも反映し、「みんなで」という主語で住民の参加意識を高めました。「安心・幸福な上市」というゴールに向け、守る・支える・交流・つながりを強調しています。この方針は、アンケート分析結果報告書や事業案で繰り返し示された住民参加・協働の重要性や、「みんなで」「支えあい」などのキーワード、協働・一体感を重視する方向性に基づいています。



## 2 戦略の体系

第3期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系図



総合戦略

### 3 具体的な施策

# 1

## つながる上市

幸せでわくわくの  
ミライへ“つながる”  
子育て・教育



©2012「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会



#### 数値目標

出生数 54 人（令和 7 年） ▶▶▶ 91 人（令和 12 年）

コメントの追加 [C8]: 人口ビジョンの改訂を踏まえて修正しました。

### 基本的方向

人口減少や少子化、核家族化といった状況が進行しているなか、子育て家庭の不安や負担感を軽減するため、こどもまんなか社会の理念のもと切れ目ない支援体制の整備をはじめ、保育環境の充実や地域全体で子どもを育てる機運の醸成、ICT の活用による学びの支援、郷土への愛着を育む教育など、子どもたちの健やかな成長とミライへつながる人づくりを総合的に推進します。

コメントの追加 [C9]: 総合計画骨子案。



こどもの城・城まつり

総合戦略

重点施策

ア こどもから若者、子育て世帯までの切れ目のない支援による安心して  
妊娠・出産・子育てできる環境づくり

子育て世帯への経済的支援や住宅支援、産前・産後ケアの充実、相談体制の強化、一時預かり事業などの保育環境の充実、きめ細やかな支援策を展開し、子育て家庭の不安や負担感の軽減を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
子育て世帯の転入数 (0～6歳児を含む世帯)	29世帯	35世帯
出生数	54人	91人
子育て世帯向け住宅支援の 利用件数	90件 (R4～R6)	150件 (R8～R12)
産後ケア事業の利用率 (産婦のうち利用した割合)	40.1%	50%
子育てに悩みや不安をもつ 世帯等対応件数 (訪問と面談の件数)	53件	43件

具体的な事業

- 結婚相談所の設置
  - 病児病後児保育の充実
  - 不妊不育症治療支援
  - 子育て世帯への経済的支援
  - 民間保育所（園）等施設整備支援
  - 地域子育て支援拠点への支援
  - 子育て世帯向け「申請手続きのデジタル化・簡素化」推進事業
  - 産前産後・育児期のブッシュ型情報発信事業
- 婚活イベントの開催
  - 周産期等支援（産後ケア事業の拡充）
  - こども家庭センターの推進
  - 若年世帯の住宅取得支援
  - 住宅リフォームの支援

コメントの追加 [C10]: 総合計画骨子案。

コメントの追加 [C11]: 総合計画骨子案。

コメントの追加 [C12]: 変更後の基本的方向-本文では「結婚支援」に関する記述が削除されており、代わりに「子育て世帯への支援」「保育環境の充実」「相談体制の強化」などが中心となっていることから、これに合わせて子育て世帯の転入数に変更しました。

コメントの追加 [C13]: 新築住宅の着工棟数よりも、より直接的に子育て世帯向けの住宅支援の成果を測る指標に変更しました。

コメントの追加 [C14]: 安心できる妊娠・出産環境の整備状況を測る指標として追加すべきと考えました。

コメントの追加 [C15]: 子育ての不安解消に関わる指標として追加しました。

コメントの追加 [C16]: 子育て支援の申請が煩雑との声、デジタル化要望の声があったため、子育て支援のデジタル化やホームページ等の充実化などを進める事業を追加しました。

コメントの追加 [C17]: 保育所が1か所閉鎖になったことや、相談体制強化・デジタル化要望の声があったため、相談機関等子育て支援サービスのブッシュ型の情報発信に努めます。

イ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり

上市町の子どもをみんなで育てる機運を高め、子どもの居場所づくりとして児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、地域クラブ・地域の活動団体等の多様な支援策を充実させていきます。

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
放課後子ども教室延べ利用人数	13,664 人	14,000 人
放課後児童クラブ設置数	6 か所	6 か所
部活動終了後の受皿となる地域クラブ・地域の活動団体等への全生徒の参加率	25%	60%

具体的な事業

- 放課後児童クラブの推進
  - ブックスタート
- 放課後子ども教室の推進
  - 上市中学校部活動の地域展開

総合戦略

コメントの追加 [C18]: 令和 9 年度末までに部活動を終了する町方針を固めたため、部活動に代わる受皿団体および各家庭への支援を一層強化していく必要があります。

※これまでは、下のウ（インクルーシブ教育）に配置されていましたが、上市町の全て子どもたち（小学生だけでなく中学生も含めた）放課後の子ども達の居場所および学びの機会の提供を一層支援していくため、イで計上します。

コメントの追加 [C19]: 当初ウにあった「上市中学校課外活動応援プロジェクト」事業をイ（本項）に移動し、名称も「上市中学校部活動の地域展開」に変更しました。

## ウ 地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育<sup>1</sup>の推進

個々の発達の度合いに応じた学びを進め、基礎的な学力の定着を図るとともに、ICTを有効に活用することで、自ら考え学ぶ力を培い、地域の中で活躍できるしなやかで伸びしろのある子どもたちを育む教育を推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
家庭での学習習慣	小学生 68% 中学生 49%	小学生 70% 中学生 60%
中学生の自己有用感 <sup>2</sup>	79%	80%
中学生の学習への関心度	76%	80%

### 具体的な事業

- 学習支援ソフトの導入など、教育へのICT活用
- 発達相談・支援（ディスレクシア対応など）の充実
- 教育DX・ICT活用の「不登校支援・家庭学習サポート」事業



プログラミング学習



夢の教室

<sup>1</sup> 子ども一人ひとりのニーズに合わせた支援・教育

<sup>2</sup> 誰かの役に立ったり、誰かから必要とされている満足感



## エ 郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進

本町が持つ豊かな自然や歴史・文化を学び、郷土への誇りと愛着を育て、自己の確立を図るとともに、国際社会の中で自らを表現し、コミュニケーションがとれる子どもを育む教育を推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
ふるさと町民学園の年間 延べ参加者数	680 人	700 人

### 具体的な事業

- ふるさと学習の実施
- 学校給食「かみいちの日」の実施
- 外国語指導助手の配置・独自の外国語カリキュラムの作成
- 海外とのオンライン交流など、教育への ICT 活用
- コミュニティスクールの推進
- ふるさと町民学園講座の実施
- 義務教育学校の整備とそれに向けた特色ある教育の構築



新米給食



# 2

## にぎわう上市

変化と継承への  
チャレンジで“にぎわう”  
産業・基盤



©2012「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会



### 数値目標

人口の社会増減  $\Delta 97$  人（令和 7 年）▶▶▶  $\pm 0$  人（令和 12 年）

総合戦略

コメントの追加 [C20]: 人口ビジョンを踏まえて修正しました。

### 基本的方向

人口が減少しても心豊かに過ごせる社会を目指し、地域資源を活用した魅力あるイベント開催とまちなか（中心市街地）のにぎわい創出や、情報発信による地元の魅力の認知向上、地域産業の担い手の誘致・育成、都市との交流を生む基盤整備など、上市町の特長を最大限に活かしながら、官民連携によるにぎわいと活力のあるまちづくりに向けた取組にチャレンジします。

コメントの追加 [C21]: 総合計画骨子案。



上市スマートインターチェンジ

重点施策

ア 上市らしさを活かした魅力あるイベントやまちなかのにぎわい創出へのチャレンジ

官民連携で上市町らしさを感じられるイベントを、特に頻度よりも目的や満足度を重視して開催するとともに、まちなか（中心市街地）の賑わいを創出します。また、地域活性化起業人や地域おこし協力隊など多様な人材の力を活用しながら、上市町ならではの魅力を活かした地域づくりを進め、交流人口拡大や地域のにぎわいづくりにつなげます。

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
まちなかの催事参加者数	21,550 人	21,700 人
中心市街地のにぎわいへの住民満足度（アンケート調査）	4.2%	15%
年間催事開催数	4 回	4 回
情報発信件数	1 回	4 回
地域おこし協力隊派遣者数	累計 6 人 (R3～R7)	累計 9 人 (R8～R12)

具体的な事業

- 町民共創型の催事企画実行
- e スポーツの振興
- 地域活性化起業人事業
- 地域プロジェクトマネージャー事業
- 現在実施されている催事の現況把握、棚卸
- 地域と暮らしへのデジタル実装事業
- 地域おこし協力隊事業

イ 地域資源を活用した地元の魅力の認知向上へのチャレンジ

地元の特産品や観光資源を活用したプロモーション活動、SNS 等を活用した情報発信を積極的に展開することで、住民による地元の魅力の認知向上とシビックプライドの醸成を推進します。

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
フォトロゲイニング大会への町内、町外別参加者数	町内参加者： 82 人 町外参加者：330 人	町内参加者：100 人 町外参加者：400 人

コメントの追加 [C22]: 総合計画骨子案。

コメントの追加 [C23]: 総合計画骨子案。

総合戦略

コメントの追加 [C24]: 賑わいがあるかは住民の主観に基づくものでもあるため、定性的な指標を図るために設定しました。

コメントの追加 [C25]: 催事の開催数が多ければそれだけ活気を感じる機会が増えるため設定しました。

コメントの追加 [C26]: 外部発信の定量的な指標として設定しました。

コメントの追加 [C27]: 中心市街地の賑わいを求める住民アンケート結果へのアンサーとして町に常時賑わいを創ることは現実路線ではないと割り切り、代わりに住民が参加し、内外に誇れる催事を開催し外部にも積極的に発信することにより、暮らしの中で賑わいを感じられる瞬間を作り上げるための事業を追加しました。

コメントの追加 [C28]: 様々な企画の催事が開催されていると思いますが、それらの成果把握や振り返り、必要に応じた統廃合により、より効果のあるものにリソースを集中するべきと考え、まずは現況把握、棚卸を継続的に実施します。

コメントの追加 [C29]: 総合計画骨子案。

コメントの追加 [C30]: 総合計画骨子案。

コメントの追加 [C31]: フォトリゲイニングも目玉催事の1つと考えます。そのため、町民の参加も重要であることから、県外参加者だけでなく町民参加者についても指標を設定しました（住民参加はプレイヤー側、運営側の双方であると想定）。

町の農林水産物を活用した 商品開発数	8 件		10 件	
戦略作物作付面積	ねぎ	250.0 a	ねぎ	300.0 a
	さといも	940 a	さといも	1,100.0 a
戦略作物出荷数	ねぎ	20.2 t	ねぎ	25.0 t
	さといも	44.7 t	さといも	55.0 t
※JA への出荷数				

具体的な事業

- 町の農林水産物を活用した商品の開発、販路の拡大
- グリーンツーリズム
- エコツーリズムの推進
- 森林セラピー基地の活用
- 農産特産物の出荷奨励
- 広報 DX 事業
- フォトロゲイニング大会の開催
- 産地づくりの推進
- 畜産農家への家畜導入費助成

ウ 担い手の誘致・育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ

地域おこし協力隊の活用や起業支援、生活支援体制の整備を進めるとともに、農業・地場産業に興味のある移住者向けの情報を発信し、地域産業の担い手となるチャレンジ意欲のある人材を地域に定着、次世代につながる育成環境を充実させ、持続的な活躍を促進します。

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
50 歳未満の新規就農者数	7 人	10 人
学校給食での地元食材利用率	14.3%	16.0%
創業件数	16 件 (R3～R7 見込み)	20 件 (R8～R12)

具体的な事業

- 農業の新規担い手育成
- 起業支援



創業支援チャレンジショップ事業



フォトロゲイニング

総

コメントの追加 [C32]: 総合計画骨子案。

略

コメントの追加 [C33]: 総合計画骨子案。



エ 都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりの  
チャレンジ

上市スマートインターチェンジや鉄道などのインフラを、ひと・もの・しごとの流れを活性化する基盤ととらえ、関係する事業者・団体と連携しながら、デジタル環境の整備、移住・定住に向けた住居取得の支援、企業立地や公共交通機関の利用促進を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
公開型 GIS によるオープンデータ件数	—	10 件
都市部事業者と連携した民間事業の創出件数	1 件 (R7)	3 件 (R8～R12)
空き家の利活用数	16 件 (R6)	75 件 (R8～R12)
町外からの企業進出に伴う企業立地助成金件数	2 件 (R3～R7)	3 件 (R8～R12)
カミールを中心とした300m 半径の新規創業件数	3 店舗 (R3～R7)	8 店舗 (R8～R12) ※店舗とは店舗内で商品売 買が可能な飲食・サービ ス業等とする。
町営バス利用者数	45,149 人	46,000 人

具体的な事業

- 公開型 GIS の整備
  - 移住・定住の情報発信
  - 企業立地助成金交付事業
  - 公共交通機関の利用促進
  - 奨学金の返済支援
  - 人口減少対策プロジェクト
- 空き家の利活用推進
  - 移住・定住の支援
  - 民間住宅団地の造成誘致
  - 町営バスの運行
  - KAMIICHI チャレンジプロジェクト推進事業
  - 都市部事業者とのマッチングツアーの実施



サテライトオフィスでのバーチャル技術体験



かぼちゃ電車と剣岳

コメントの追加 [C34]: 総合計画骨子案

総合戦略

コメントの追加 [C35]: 2 期戦略策定時から時代が変わり、サテライトオフィス誘致は地方活性化の 1 形態となり、現在はデジタル技術とリアルを活用した様々な事業展開が可能となっています。KAMIICHI チャレンジプロジェクトで求めているのは、『都市部事業者等との連携により町内経済等の活性化』を目指していることから、KPI 指標を変更します。

コメントの追加 [C36]: 企業立地数には、これまで町内企業の増設に伴った企業立地助成金交付件数も含まれていました。次期総合戦略においては、町内企業の増設もちろん必要ですが、大坪地域工業団地なども含めて、町外からの誘致について明確に戦略として打ち出す必要があります。

コメントの追加 [C37]: KAMIICHI チャレンジプロジェクトの「まちづくり」と連動して、まちなかエリアビジョンの作成と事業展開を進める中で、まちなかの賑わい創出を示す指標となりやすい商店数を指標とすることとしました。

コメントの追加 [C38]: KPI 指標の変更に伴い、事業内容を変更しました。

## 3

## ささえあう上市

守るべきものを守り、  
みんなで“ささえあう”  
安全・安心な暮らし



©2012「おおかみこどもの雨と雪」制作委員会



## 数値目標

平均自立期間<sup>3</sup> 男性 78.3 歳 女性 79.4 歳（令和 7 年）  
▶▶▶ 男性 80.0 歳 女性 82.0 歳（令和 12 年）

## 基本的方向

町民一人ひとりが心豊かで充実した生活を実現できるよう、災害の不安を軽減する取組や、地域福祉の推進と健康づくり活動の支援、地域に欠かせない生活インフラの維持として、かみいち総合病院や上市高校に重点を置いた取組など、ささえあいで安全・安心な暮らしの環境づくりを推進します。



介護予防事業

<sup>3</sup> 国民健康保険中央会が国保データベース（KDB）システムにより算出した「平均自立期間」（「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標とした健康寿命）を参考に、町独自に算出しているもの。

重点施策

ア 防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る

地域ぐるみの防災・減災の取組として、自主防災組織の活動を支援し、災害時用の備蓄を進めるとともに、気象災害のリスクを低減するためのカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進します。また、防犯や交通事故といったリスクに対し、設備の設置、啓発活動、教育の機会の創出などの対策を行い、安全・安心な暮らしを守ります。そのほか、**廃校を利活用し、人が集まり交流が生まれる地域の拠点づくりを進めていきます。**

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
自主防災組織の活動率（町内の自主防災組織のうち、年1回以上活動を実施した組織の割合）	25.5%	30%
交通事故による死者数	1人	0人

具体的な事業

- 自主防災組織への支援
  - 災害時用の備蓄品整備
  - 防犯灯の設置助成
  - 交通指導員等への活動助成
  - カーボンニュートラルの推進
  - 廃校利活用プロジェクト
- 防災訓練の実施
  - 避難施設災害時電源設備の整備
  - 交通安全教室の開催支援
  - 防犯・交通安全の啓発
  - おおかみこどもの森づくりプロジェクト

イ 自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る

健康寿命の延伸に向けて、がん対策や心の健康、感染症予防等、土台となる心身の健康づくり活動の促進を図ります。また、**フレイル予防に対する意識の醸成を図る啓発活動や医療・介護の連携体制の強化を推進し、健康で安心できる暮らしへの環境づくりにつなげます。**

重要業績評価指標（KPI）

KPI	基準値	目標値
特定健診受診率	35.4%	60%
がん検診精密検査受診率	胃がん 男性 100.0% 女性 93.3% 大腸がん 男性 78.8% 女性 89.6% 肺がん	全項目 90.0%以上

総合戦略

コメントの追加 [C39]: 活動率を指標とすることで、組織全体の防災力や地域ぐるみの取組状況をより的確に評価できるようになると考えました。

コメントの追加 [C40]: 総合計画骨子案。

コメントの追加 [C41]: がん検診については、職域がん検診の数値等の把握が困難なため、精密検査受診率の向上を評価指標としました。

	男性 90.0%	
	女性 85.7%	
	子宮がん 100.0%	
	乳がん 97.2%	

具体的な事業

- 高齢者福祉サービスの充実
  - 在宅医療と介護の連携
  - 健康づくりの推進
  - 感染症の予防
  - 自殺対策
- 障害者自立支援
  - 特定健診、特定保健指導
  - がん対策（検診・普及啓発）
  - 健康増進（健康教育、相談・訪問指導・健診等）
  - 骨粗しょう症ゼロ事業

## ウ かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る

### 【がんばるかみいち総合病院応援プロジェクト】

本町と周辺町村の医療拠点であるかみいち総合病院を守るため、**地域住民の理解と関心を高める情報発信を行うとともに**、病院ボランティア等での町民の参加や医療従事者への応援、医療環境の充実などの取組を地域ぐるみで進めていきます。

#### 重要業績評価指標（K P I）

K P I	基準値	目標値
がんばるかみいち総合病院 応援寄附件数	90 件	470 件 (R8～R12)
新人看護師離職率	0 %	0 %

#### 具体的な事業

- **がんばるかみいち総合病院応援寄附金の啓発**
- **看護職のキャリア形成・定着支援**
- 認定看護師等による出前講座の開催
- コミュニティ・ホスピタル事業
- 医療従事者の研修助成
- 医療器械購入支援

コメントの追加 [C42]: 今後は看護職のキャリア形成や定着支援に重点を置いた新規・継続事業に転換する必要があると考えました。



かみいち総合病院



コミュニティ・メディカルデザイナー 養成講座



エ 地域と密着した活動で上市高校のミライを守る

【上市高校地域密着型活動推進プロジェクト】

高校は、地域の学びの場だけでなく、地方創生の場でもあります。この認識のもと、行政、まちづくり団体、事業所が連携し、町内事業所での職場体験やI o T等未来技術にふれる機会、まちづくりを考える機会の創出など、上市高校と地域社会が密着した活動を推進します。

重要業績評価指標（K P I）

K P I	基準値	目標値
町内事業所でのインターンシップ参加者（割合）	30.4%	40.0%
上市高校キャリア教育を卒業後の進路選択に役立てた生徒の割合	89.4%	90.0%
上市高校のキャリア教育によって町内の企業や事業所に就職したいと思った生徒の割合	48.2%	50.0%

総合戦略

コメントの追加 [C43]: 上市高校の職場体験は1年次に全員が毎年参加しているため、2年次夏の任意参加であるインターンシップへの参加者割合を目標値にしました。

具体的な事業

- 町内事業所での職場体験
- 町内事業所説明会開催



上市高校生の職場見学会

